

広島大学 教育ヴィジョン研究センター (EVRI)  
 定例セミナー特別講演会No.81  
 ポストコロナ第3フェーズ  
 第1回「ポスト・コロナの学校教育をリデザインする視点」

## 自身の取組(京大の取組)を『リデザイン』本を 読んで振り返る



京都大学大学院教育学研究科  
 教育実践コラボレーション・センター  
 E.FORUM

2021年6月19日  
 京都大学 西岡加名恵

### <自己紹介>

- ・ 教育方法学(カリキュラム論、教育評価論)
- ・ パフォーマンス評価(パフォーマンス課題、ルーブリック)、ポートフォリオ評価法
- ・ アメリカやイギリスの調査、日本の学校の先生方と共同研究開発
- ・ 大学では教員養成の仕事も担当(教育実習指導など)
- ・ 京都大学大学院教育学研究科E.FORUMの講師と運営を担当  
<https://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/>
- ・ 中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会 児童生徒の学習評価の在り方に関するワーキンググループ(2009年6月~2010年3月)、育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方に関する検討会委員(2012年12月~2014年3月)、高等学校における「多様な学習成果の評価手法に関する調査研究」評価・推進委員会委員(2013年6月~2016年3月)、「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)支援事業の今後の方向性等に関する有識者会議」委員(2020年4月~)など

1

## 1. 『リデザイン』本について



- 序章 ポスト・コロナの学校教育を問う
- 第1章 ポスト・コロナの学校教育を巡る教育研究の動向
- 第2章 学校におけるコミュニケーションのリデザイン
- 第3章 教師はどのようにCOVID-19を授業化したか
- 第4章 ICTを活用した授業づくり、学校づくりを考える
- 第5章 パンデミックと学校教育
- 第6章 コロナ禍に対する世界の教育システムの対応事例
- 第7章 これからの学校教育に求められる数理的思考
- 第8章 多様なニーズのある子どもを支える人々を孤立させない支援ネットワーク
- 第9章 ポスト・コロナ社会における「三実」(実技・実習・実演)のゆくえ
- 終章 学校教育のこれまでとこれから

※執筆者が多彩で豪華 → 多角的なアプローチ

※文献レビュー ~リンクを貼らせてほしい

※授業づくり ~「コロナ禍」における工夫の貴重な記録

※学校・社会の在り方 ~国際的な視点、「支える側を支える」

2

## 序章 ポスト・コロナの学校教育を問う

(p.5, pp.10-12)



図序-1 EVRIの新体制-4つの研究ユニットとその目的-

### A. ポスト・コロナをどのように受け止めるべきか

- ①学校:個性と効率性を追究すべき
- ②学校:知性と人間性を育む場に生まれ変わるべき
- ③学校:公正さと格差是正をはかる場となるべき

3

### B. 学校の教育活動はどうあるべきか

- ①基礎的な知識の効率的な定着をはかるべき
- ②柔軟な教育課程を指向するべき(高度な概念の習熟と活用、批判的思考力)
- ③子どもの心とからだのケア(ウェルビーイングな環境づくりと仲間づくり、日常生活を充実させる知識と生活態度)

### C. 学校と社会との関係はどうあるべきか

- ①学校は学びの拠点(活動の一部を外部に委託するのもやむなし)
- ②学校は学びの調整機関(課題・経験・概念を結びつくセンター)
- ③学校は多様な学びの場の1つ(家庭、図書館、病院、旅なども)

### D. 学校の諸教科はどうあるべきか

- ①特定の教科のみを必修、その他は選択に
- ②教科は再編されるべき(総合的・創造的、概念や探究法の習得)
- ③必修の教科を広げる(教養、社会的経験、ヴォランティア活動)

4

E. 子どもに一人一端末をいかに導入すべきか

- ①リスクとモラルの指導。個別に適応・調整された学びの機会。
- ②ICTを使いこなすリテラシー。民主主義の経験。
- ③ICT依存を避ける。現実への回帰。

F. 教員にどのような研修を提供すべきか

- ①外部機関に委ねる。オンデマンドの自習サイト。高度な「技術」。
- ②教育の専門家が自律的に行う。オンラインによる授業研究。「理論」の立て直しの支援。
- ③個人の自主的な学びに委ねる。

- ※A～Fの論点は、どのように構造化されるのか？  
※EVRIが示すビジョンとはどのようなものか？  
※大学(教員・研究者)が果たすべき役割は何か？

5

## 2. E.FORUMについて



E.FORUMは  
広く教育に関心を持つ人々の「広場」です。

E.FORUMは、広く教育に関心を持っている人がとが集まり、ともに語り合うことを通して、  
おなじの教育力量を向上させることを目的とした「広場」です。  
学ぶ喜びを感じ、賢明に判断し行動できる子どもたちの育成に役立ちたいと願っています。

- 2006年創設
- 最新の研究や政策・実践等に関する知見を発信・検討する。  
～研修会／セミナー、研究会、講演会など
- 全国の先生方の間に交流の機会を提供する。  
～実践交流会、E.FORUM Online(データベース、掲示板)  
→新たな知見を生み出す。

7

## 終章 学校教育のこれまでとこれから

### 第1節 EVRIが描く学校教育のこれまでとこれから

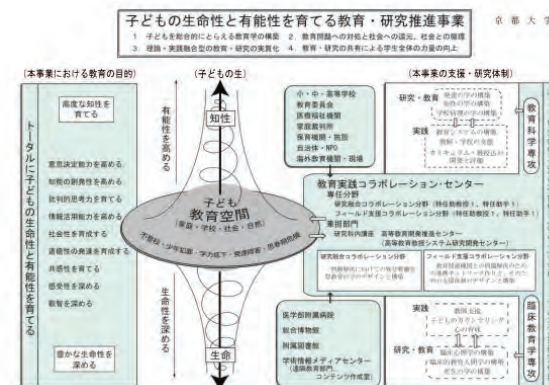
- ①学校という視角:多様なステークホルダーによる多様な教育と福祉の場
- ②カリキュラムという視角:学校・学年・教科・領域を横断した学びのデザイン
- ③授業という視角:つながりと応答を組織する場

### 第3節 学校教育には何が求められるのか

- ①身体の居場所からまなざしの焦点としての学校への転換を求める
- ②学校教育に生活を科学的に認識する教育的経験を求める
- ③学校教育に社会のリデザインを求める

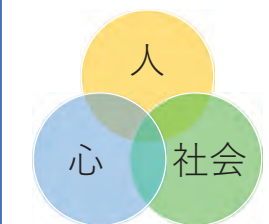
6

### (1) 京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センター(2007年～)



桑原知子「子どもの生命性と有能性を育てるために ―『コラボレーション』という枢軸をたよりとして」京都大学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センター『円環する教育のコラボレーション』2013年 (<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/176395>)

Cf. 京都大学教育学部  
の3つの系



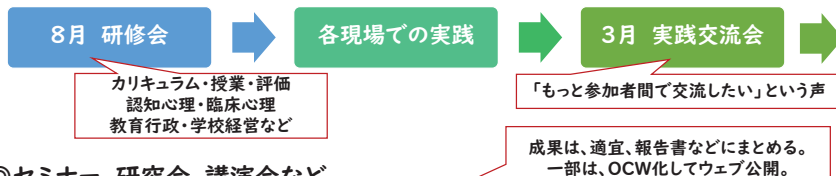
現代教育基礎学系  
教育心理学系  
関連教育システム論系

8



Cf. <https://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/history/>

◎全国スクールリーダー育成研修



◎セミナー、研究会、講演会など

- ・ 2012年度:「大学で育てるべき教師の資質能力とは何か——『教員養成の京都大学モデル』を  
探る」「高大接続・大学入試の課題と展望」
- ・ 2013年度:「『教職の高度化』をどう構想するか」
- ・ 2014年度:「大学教育改革を考える——教養とは何か」「高大におけるカリキュラム改革を考  
える——探究力育成の視点から」
- ・ 2015年度:「高等学校における探究の評価」（「高校生と大学生の探究成果ポスター発表会」  
も）
- ・ 2016年度:東京学芸大学教員養成カリキュラム開発研究センター×E.FORUMジョイント・セミ  
ナー「学習指導要領改訂期の課題と展望」
- ・ 2017年度:学力評価スペシャリスト研修
- ・ 2018年度:望月未希先生講演会「進路多様校における、社会に開かれた教育を通したカリキュ  
ラム開発」
- ・ 2019年度:オンラインコース「教育評価の基礎講座」2019、ブレンディッドコース「実践づくり  
フォローアップ講習」
- ・ 学会主催の研究会等を後援することも。

### (3) 2021年度前半の研修

ただいま、参加者募集中です！



京都大学大学院教育学研究科  
**E.FORUM 2021**  
 全国スクールリーダー育成研修

ただいま、参加お申込  
 受付中です！




◎2021年度「スクールリーダー育成のためのオンライン・リレー講座」

|     | 日程                      | 講師                         | タイトル                             |
|-----|-------------------------|----------------------------|----------------------------------|
| 第1回 | 7月3日(土)<br>14:00~16:00  | 石井 英真<br>京都大学大学院教育学研究科 准教授 | 教育改革の最新動向と授業づくりの課題               |
| 第2回 | 7月17日(土)<br>14:00~16:00 | 明地 洋典<br>京都大学大学院教育学研究科 准教授 | 基礎研究者と考える特別支援教育                  |
| 第3回 | 7月31日(土)<br>14:00~16:00 | 西 見奈子<br>京都大学大学院教育学研究科 准教授 | 心のケアとはなにかーその歴史から考えるー             |
| 第4回 | 8月8日(日)<br>14:00~16:00  | 楠見 孝<br>京都大学大学院教育学研究科 教授   | 教師の実践知獲得                         |
| 第5回 | 8月22日(日)<br>14:00~16:00 | 服部 憲児<br>京都大学大学院教育学研究科 准教授 | 教師が能動的に取り組む学校マネジメントを<br>いかに実現するか |

※お申込：京大オリジナル株式会社ウェブページ

<https://www.kyodai-original.co.jp/open-academy/program/?no=12>

※お申込締切:各回1週間前(日曜日)まで



京都大学大学院教育学研究科

## E.FORUMは

### 広く教育に関心を持つ人々の「広場」です。

E.FORUMは、広く教育に関心を持っている人びとが集まり、ともに語り合える場を造って、  
 互いの教育力を向上させることを目的とした「広場」です。  
 学ぶのが好きで、質問に積極的に行ってくれる子どもたちを応援し、成長を促しています。

[E.FORUMとは？](#)
[会費・入会申込](#)
[研究成果のご紹介](#)
[京都大学の教育活動](#)
[子どもたち応援サイト](#)



E.FORUM  
Online (EFO)



E.FORUM  
EFOマニュアル



京都大学大学院  
教育学研究科・教育学部



教育実践  
コラボレーション・センター

#### 事務局からのお知らせ

- 遠隔研究会「学校教育におけるICT活用」第11回・第12回のご案内を掲載しました  
(2021/1/6up)
- 遠隔研究会「学校教育におけるICT活用」第1回～第10回までのデラシは「E.FORUM  
の学び」に掲載しています (2020/12/17)。  
→ [こちらをクリック](#)
- 遠隔研究会「学校教育におけるICT活用」第9回・第10回のご案内を掲載しました  
(2020/12/4up)
- E.FORUM研修会「『総合的な探究の時間』を探究する」のご案内を掲載しました  
(2020/10/29up)
- 遠隔研究会「学校教育におけるICT活用」第7回・第8回のご案内を掲載しました  
(2020/10/29up)

全体のアクセス数: 859万  
 1日あたりのアクセス数: 105  
 現在の閲覧者数: 1

<https://e-forum.educ.kyoto-u>

ごめい、E.FORUMでは、学内限定（GAPファンド）を推進し、遠隔研究会「学校教育におけるICT活用」



## (4) E.FORUM Online ← 会員制

データベース



掲示板



ただいま、更新  
作業中 (もう少し  
使い勝手の良い  
ものになる予定)

先生方の実践の  
成果等をまとめた  
資料集・報告書

その一部を  
さらに練り直して  
書籍に...



13

14

## (5) 怒涛の2020年度

- ・西岡:教育学研究科・教育学部の  
教務委員長  
→授業の全面オンライン化対応など
- ・3月5日~5月31日 学校の休業期間
- ・E.FORUM「子どもたち応援サイト」  
の開設 (学生たちの協力)
- [https://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/for\\_children/](https://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/for_children/)
- ↓
- ・西岡:宣伝のためにFacebookを  
始める



15



16

## (6) 京都大学GAPファンド臨時プログラム (2020年9月～2021年12月)

### ポスト・コロナの初等中等教育における ICT活用に関する研修プログラム開発と具体的提言

教育学研究科教授 西岡加名恵(教育方法学) 教育学研究科准教授 石井 英真(教育方法学)  
教育学研究科教授 南部 広孝(比較教育学) 教育学研究科准教授 西 見奈子(臨床心理学)  
教育学研究科准教授 服部 恵見(教育行政学) 教育学研究科助教 久富 望(情報学)  
教育学研究科准教授 開沼 太郎(教育行政学)

学校現場で急速に進むICT活用  
「公正かつ魅力的で効果の高いポスト・コロナの教育」

必要知見の集約・整理・発信

- 1) 前提となる条件整備
- 2) ICT活用のための人材育成
- 3) 教育効果を高めるICT活用の在り方

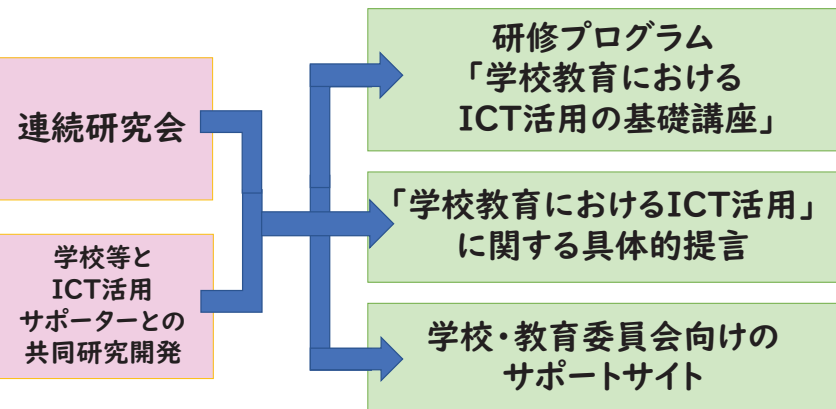
17

### 連続研究会 第1～16回の概要

- ・ 第1回「オンライン授業の初歩の初歩／情報活用能力の体系表例」
- ・ 第2回「LMSの初歩の初歩～何のためにあるのか？／教育データ活用をめぐる議論～LMSの次の未来」
- ・ 第3回「オンライン授業からみてきたICTを活用した学びを深める授業とは」
- ・ 第4回「休校期間中の熊本大学教育学部附属中学校での取り組み／頭のど真ん中にある判断基準とは何か」
- ・ 第5回「デジタル教材配信システムBookRollの紹介／BookRollを活用した授業実践の流れ」
- ・ 第6回「GIGAまでの歩みとこれからを考える——教育のデジタル・トランスフォーメーションの可能性」
- ・ 第7回「教育の情報化政策の動向と学校におけるICT活用」
- ・ 第8回「パフォーマンス評価におけるICTの活用」
- ・ 第9回「授業におけるICT活用とそのための体制づくり」
- ・ 第10回「情報モラル教育のための様々な取り組みのご紹介」
- ・ 第11回「算数・数学教育におけるICT活用」
- ・ 第12回「ICTを使ったカウンセリング」
- ・ 第13回「学習科学からの知見をふまえたICT活用」
- ・ 第14回「実践交流会」
- ・ 第15回「オンライン授業で学びを豊かにする 地方公立小学校における実践紹介」
- ・ 第16回「熊本市が挑む教育ICTプロジェクトとその先の未来」

第16回は  
2021年7月3日。  
参加申込締切は、  
6月28日。

19



18



20



## (7) 2021年度 後半の研修

※ただいま、プログラム作成中。画像は編集中的ものです。

京都大学大学院教育学研究科  
E.FORUM 2021  
全国スクールリーダー育成研修

**オンライン・コース**

「教育評価の実践講座—パフォーマンス評価をどう活用するか—」

「学校教育におけるICT活用の基礎講座」

**プログラム作成中**

10月10日(火)～11月30日(火)まで開催  
8月10日(火)～11月30日(火)まで開催  
10月16日(土)～11月13日(土)まで開催

「教育評価の実践講座—パフォーマンス評価をどう活用するか—」  
「学校教育におけるICT活用の基礎講座」

「総合的な学習(探究)の時間」の指導と評価—ポートフォリオ評価法とルーブリックを中心に—  
国語科におけるパフォーマンス課題とルーブリック  
社会・地理・公民  
英語  
算数・数学  
理科

京都大学大学院教育学研究科  
E.FORUM 2021  
全国スクールリーダー育成研修

**オンライン・コース**

「学校教育におけるICT活用の基礎講座」

**プログラム作成中**

10月10日(火)～11月30日(火)まで開催  
8月10日(火)～11月30日(火)まで開催  
10月16日(土)～11月13日(土)まで開催

「教育評価の実践講座—パフォーマンス評価をどう活用するか—」  
「学校教育におけるICT活用の基礎講座」

「総合的な学習(探究)の時間」の指導と評価—ポートフォリオ評価法とルーブリックを中心に—  
国語科におけるパフォーマンス課題とルーブリック  
社会・地理・公民  
英語  
算数・数学  
理科

21

京都大学大学院教育学研究科  
E.FORUM 2021  
全国スクールリーダー育成研修

**オンライン・コース**

「教育評価の実践講座—パフォーマンス評価をどう活用するか—」

**プログラム**

| 講座     | 日程                    | 講師                                                                                | タイトル                                                                                           |
|--------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| オンデマンド | 8月10日(火)～11月30日(火)    | 西岡 加名恵 京都大学大学院教育学研究科 教授                                                           | 「資質・能力」を育成するパフォーマンス評価                                                                          |
| 総合分科会  | 10月16日(土) 14:00-16:10 | 西岡 加名恵(同上)<br>濱田 悟 京都市立堀川高等学校 研究部 部長<br>協力:京都市立堀川高等学校                             | 「総合的な学習(探究)の時間」の指導と評価—ポートフォリオ評価法とルーブリックを中心に—                                                   |
| 教科別分科会 | 10月30日(土) 14:00-16:10 | 国語 八田 幸恵 大阪教育大学教育学部 准教授<br>社会・地理・公民 鎌山 泰弘 追手門学院大学心理学部 教授<br>英語 赤沢 真世 佛教大学教育学部 准教授 | 国語科におけるパフォーマンス課題とルーブリック<br>社会問題の理解を深め、構想力につながる社会科のパフォーマンス評価<br>外国語(英語)科における評価と授業づくり—小中高をつなぐ視点— |
|        | 11月13日(土) 14:00-16:10 | 算数・数学 徳島 祐彌 兵庫教育大学教員養成・研修高度化センター 助教<br>理科 大貫 守 愛知県立大学教育福祉学部 准教授                   | 算数・数学科におけるパフォーマンス評価の在り方<br>理科におけるパフォーマンス課題を生かした単元設計の方策                                         |

※プログラムは、暫定版です。

22

## (8) E.FORUMの特徴 ～到達点と今後の課題は何か？

- EVRIと比べると、小規模な(ささやかな)取り組み
- 研究よりも研修(教育実践の改善に資することをめざす)  
～研究的な成果は、副次的 →今後の課題は？
- 共有したいのは、「文化」「楽しくて元気がでる」  
→対面での研修も復活させたい
- GAPプロジェクト: ICT活用についての「提言」まとめ(検討中)
- 持続可能な体制づくり(予算獲得)は、常に課題...



23

## 3. 議論したいこと

- めざすべきビジョンは？
- どこまでを視野にいれるべきか？
- どのようなニーズに応えるのか？
- 大学(教員・研究者)の果たすべき役割は？



ご静聴ありがとうございました。

24